



## 校内研修サポート「言語活動と算数科」より

6月5日(金),「校内研修サポート事業」を利用しての校内研修会の内,後山和彦指導主事の「言語活動と算数科」についてのお話をマインド・マップ化してみました。短い時間でしたが,いいお話が聞けたのではないかと思います(尾形もビデオを見せてもらいました)。

算数の言語は「図,式,表,グラフ」であること,それらの相互変換をできるようにすることが大切であると述べておられました。

以前『UMISACHI 通信』「ノートの使い方」の折りに紹介した新居信正先生もいつも同じようなことをおっしゃっておられました。新居先生は「変換する」とは言わずに「翻訳する」と言っておいでました。「文章題」を「算数の言葉に翻訳する」=「図式で表す」「数式で表す」ということです。

これができることが,数学的な言語を使って数学的に考えることにつながっていくのだと思います。

さて,宇出津小の図や式などのパターンを決めますか?

